

国立大学法人上越教育大学学則（抄）

第 1 条 国立大学法人上越教育大学（以下「法人」という。）は、上越教育大学（以下「本学」という。）を設置する。

2 法人は、学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、学校教育に係る諸科学の研究を推進するとともに、教育者としての使命感と教育愛に支えられた豊かな教養、高い学識及び優れた技能を合わせ備えた有為の教育者を養成することを目的とする。

第 3 2 条 学校教育学部（以下「学部」という。）は、学校教育に関する専門の学芸を教授研究し、広く豊かな知識を授けるとともに、教育実践の場における優れた指導能力を備えた初等教育教員を養成することを目的とする。

第 6 4 条 大学院は、学校教育に関する理論と方法を教授研究し、広い視野に立つ精深な学識を授けるとともに、教育にたずさわる者が初等中等教育の場において教育研究を創造的に推進することのできる能力を高めることを目的とする。

創設の趣旨・目的

Outline and Characteristics of the University

今日の教育は、広く国民の大きな関心を集め、教育の制度や内容は大きく発展してきた。

しかし、その中心となる学校教育を担う教員に対しては、教育者としての使命感と人間愛に支えられた広い一般的教養、教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、教科に関する専門的学力、優れた教育技術など、専門職としての高度の資質能力が要求されている。

上越教育大学は、このような時代の要請にこたえて、主として初等中等教育教員に研究・研鑽の機会を提供することを趣旨とする大学院修士課程と、初等教育教員を養成する学部を持ち、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を推進する国立の教育大学として、昭和53年10月1日に設置された。

大学院は、学校教育研究科（修士課程）とし、主として初等中等教育の実践にかかわる諸科学の総合的・専門的研究を行うとともに、初等中等教育教員に高度の学習と研究の機会を与え、その理論的・実践的な能力の向上を図ることをねらいとしており、そのために、入学定員の3分の2程度は、初等中等教育における3年以上の教職経験を有する者を入学させることとしている。

学部は、学校教育学部とし、初等教育教員養成課程を置き、児童等の成長と発達に関する総合的な理解の上に、全教科・領域にわたる優れた指導能力を備えた初等教育教員を養成することを目的としており、人間の生涯を通ずる教育の基礎とされる初等教育と、これに携わる教員の養成の重要性にかんがみ、学生の人間形成についても重視することとしている。

また、教員養成系としては初めて、兵庫教育大学に設置された「大学院連合学校教育学研究科（博士課程）」は、本学、兵庫教育大学、岡山大学及び鳴門教育大学の4大学が、それぞれの大学院修士課程における実績の上に、連携協力して教育・研究組織を編成し、学校教育における教育活動や教科の教育に関する実践的研究を行い、それを踏まえた高度の研究・指導能力を備えた人材を育成することを目的としている。

Reflecting the fact that education is a matter of great concern among Japanese people today, there has been a marked development in educational systems and materials. Today's classroom teacher, the central figure in education, is expected to have a versatile array of qualities such as a high appreciation of culture supported by a sense of mission and humanity; a deep understanding of pedagogical ideas and methods as well as the processes of human growth and development; a specialized knowledge of subject areas; and excellent teaching techniques.

In order to meet these contemporary needs, Joetsu University of Education was established in 1978 as a national university which aims to promote the theoretical and practical studies of school education. It consists of the Graduate School of Education which is chiefly intended for in-service teachers and the College of Education which offers undergraduate courses in teacher training.

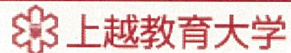
The Graduate School of Education (Master's Program) conducts comprehensive and specialized studies of various sciences chiefly involved in the theory and practice of elementary and secondary education. It also offers school teachers the opportunity of pursuing advanced research and improving their theoretical and practical abilities. For that purpose, approximately two-thirds of the admission capacity of the Graduate School of Education is allotted to the teachers who have at least three years of teaching experience.

The College of Education offers undergraduate courses which train students to have excellent teaching abilities in all the subject areas of elementary education. The course work also cultivates a comprehensive understanding of the processes of growth and development in children. Considering the importance of primary education as the starting-point for people's lifelong learning, special emphasis is placed on building character of the students who intend to become elementary school teachers.

In 1996 The Joint Graduate School in Science of School Education was opened at Hyogo University of Teacher Education as the first Ph.D. Program in the field of teacher training in Japan. Its educational and research system is organized on a cooperative arrangement among four universities, Joetsu, Hyogo, Okayama, and Naruto. Supported by the experiences and achievements of each university's Master's Program, the Joint Graduate School (Ph.D. Program) conducts practical research on educational activities and the teaching of subject areas, and thereby aims to train capable persons with high abilities of research and instruction.



JOETSU UNIVERSITY OF EDUCATION


[ホーム](#)
[サイトマップ](#)
[お問い合わせ](#)
[English](#)

SITE MENU

訪問者別エントランス

[社会人・一般の方へ](#)
[入学を希望される方へ](#)
[卒業生・修了生の方へ](#)
[在学生・職員の方へ](#)
[図書館をご利用の方へ](#)

大学・大学院プログラム

[大学紹介](#)
[学校教育学部](#)
[大学院学校教育研究科
\(修士課程\)](#)
[大学院連合学校教育研究科
\(博士課程\)](#)
[教育研究組織・附属施設・附属学校](#)
[キャンパスライフ](#)
[アクセスガイド](#)
[大学の取組み](#)
[公開情報](#)
[関連サイト](#)

[大学紹介] 大学の概要 創設の趣旨・目的

今日の教育は、広く国民の大きな関心を集め、教育の制度や内容は大きく発展してきた。

しかし、その中心となる学校教育を担う教員に対しては、教育者としての使命感と人間愛に支えられた広い一般的教養、教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、教科に関する専門的学力、優れた教育技術など、専門職としての高度の資質能力が要求されている。

上越教育大学は、このような時代の要請にこたえて、主として初等中等教育教員に研究・研鑽の機会を提供することを趣旨とする大学院修士課程と、初等教育教員を養成する学部を持ち、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を推進する国立の教育大学として、昭和53年10月1日に設置された。

大学院は、学校教育研究科(修士課程)とし、主として初等中等教育の実践にかかわる諸科学の総合的・専門的研究を行うとともに、初等中等教育教員に高度の学習と研究の機会を与え、その理論的・実践的な能力の向上を図ることをねらいとしており、そのために、入学定員の3分の2程度は、初等中等教育における3年以上の教職経験を有する者を入学させることとしている。

学部は、学校教育学部とし、初等中等教育教員養成課程を置き、児童等の成長と発達に関する総合的な理解の上に、全教科・領域にわたる優れた指導能力を備えた初等教育教員を養成することを目的としており、人間の生涯を通ずる教育の基礎とされる初等教育と、これに携わる教員の養成の重要性をかんがみ、学生の人間形成についても重視することとしている。

また、教員養成系としては初めて、兵庫教育大学に設置された「大学院連合学校教育研究科(博士課程)」は、本学、兵庫教育大学、岡山大学及び鳴門教育大学の4大学が、それぞれの大学院修士課程における実績の上に、連携協力して教育・研究組織を編成し、学校教育における教育活動や教科の教育に関する実践的研究を行い、それを踏まえた高度の研究・指導能力を備えた人材を育成することを目的としている。

◀大学の概要のトップへ戻る

平成18年度 上越教育大学学生募集要項

I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1 教育の理念・目的

上越教育大学は、21世紀の教育を担う中核的・指導的な教員の養成を目指しています。21世紀という時代に社会がどのように変化していくのかについては、様々なとらえ方が可能です。しかし、はっきりしているのはこれまで以上にあらゆる領域の変化が大きく、そして加速度的に速くなり、その変化に適切に対応することのできる能力の形成と個性の尊重が大きな社会的課題となっていく、ということではないでしょうか。そうした時代にあって、学校教育においても、これまでの知識や経験の枠組みでは十分に対応することが困難な課題や問題が生じてきています。

今、学校教育に求められているのは、様々な問題を的確に発見し、子ども一人ひとりの個性的な学びと生活に創造的に対応することができ、同時に、その解決を支援することのできる新しい形の指導力です。学校に、教員に、極めて高い専門性と自らを高める向上心が、今ほど求められているときはありません。

上越教育大学は、このような教員養成を使命として創設された新しい教育大学です。本学は、昭和53年の発足以来、若々しいエネルギーに満ちあふれ、大学院博士課程を備えたトップクラスの教員養成大学として成長しております。平成12年4月には更なる飛躍を目指して改革を行いました。この改革で、確かな実践的指導力を備えて、21世紀の教育の改善に寄与し、子どもの未来を切り開くことのできる人材を養成していきたいと、私たち上越教育大学は考えています。

本学の教育の理念・目的を理解した個性豊かな学生が多数入学し、恵まれた教育・研究環境の中でそれぞれの可能性を存分に追求しながら教職への夢を実現してほしいと願っています。

2 養成したい教員像

上越教育大学は、21世紀を担う教員像として、教育者としての使命感と教育愛に支えられた人間的な視野、更に深い学識と優れた技能に支えられた総合的な視野、この二つの視野を兼ね備えた教育の専門家を考えています。教員という職業は、豊かな人間性に支えられた専門職です。特にその専門性には、子どもたちの学習と生活を支援でき、そして人類の築き上げた文化を全体として理解・把握する、つまり、様々な学問分野の考え方を整理・統合し、人間の文化的営みを理解できる総合的な能力が求められています。

上越教育大学は、平成12年4月より着手した新たな教育課程によって、人間的な視野と総合的な視野に立った教育のスペシャリストを養成していきたいと考えています。

1 上越教育大学大学院の趣旨・目的

上越教育大学は、新しい理念と構想のもとに、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を推進するため、1978年（昭和53年）10月1日に設置された国立の大学です。教員には教科に関する専門的学力はもちろんのこと、教育者としての使命感、人間愛に支えられた広い一般教養、教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、優れた教育技術など専門職としての高度な資質能力が必要です。本学は、これらの要請に応えるため、主として初等中等教育諸学校教員に研究・研鑽の機会を提供する大学院（修士課程）と、初等教育教員の養成を行う学部を備えた、学校教育に関する高度な理論的・実践的な教育研究を推進することを目指す「教員に開かれた大学院を中心とした新しい大学」として創設されたものです。

大学院（修士課程）は、このような本学の設置趣旨に基づいて、主として、初等中等教育の実践にかかわる高度な総合的・専門的研究能力を育成し、学校教育の場における教育研究の推進者を養成することを目的としています。本学大学院は、このような趣旨から、入学定員の3分の2程度を、初等中等教育諸学校における3年以上の教職経験を有する者を大学院学生に充てることとしています。

1996年（平成8年）4月1日には、本学、兵庫教育大学、鳴門教育大学及び岡山大学を構成大学とする「兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）」が、教員養成系大学・学部として初めて設置されました。この大学院（博士課程）は、各構成大学大学院（修士課程）の実績を踏まえて、学校教育における教育活動と教科の教育に関する実践的研究を行い、この分野における研究者と指導者を養成することを目的としています。大学院（博士課程）の設置をもって、上越教育大学は、学部、大学院修士課程と博士課程を擁する、教育総合大学としての体制を整え、今日に至っています。

本学は、これまでの実績を踏まえ、21世紀の教育を担う指導的な人材を育成するために、2000年（平成12年）4月に専攻・コースの再編、専攻別入学定員の変更等の改組を実施し、現在も継続して改革を行っています。改革の基本理念は、新構想の理念を更に発展させ、特に現代の複雑さを増している教育諸問題と諸課題に臨床的に対処できる一層高度な教育研究の推進者を養成し、教育実践研究の両方において、我が国をリードすることのできる基幹的な大学院となることを目指すものです。

○ 上越教育大学公式ホームページ

上越教育大学

サイトマップ お問い合わせ English

社会人・一般の方へ 入学を希望される方へ 卒業生・修了生の方へ 在学生・職員の方へ 図書館をご利用の方へ

Google 検索 WWW を検索 www.juen.ac.jp を検索

大学紹介
 学長メッセージ
 大学の特色
 大学の概要
 業務方法書及び中期目標・中期計画
 地域連携・大学間連携
 国際交流
 知的財産本部
 スタッフ募集

学校教育学部について
 入試情報
 学部の組織等
 カリキュラム
 卒業要件と取得できる免許状・資格
 シラバス
 学生の海外留学・研修
 教育研究スタッフ
 科目等履修生

大学院学校教育研究科(修士課程)について
 06.06.28 夏季一斉休業を実施いたします。
 06.07.03 6月19日(月)に第11回国立大学法人上越教育大学経営協議会を開催しました。

ページが表示されました インターネット

大学院学校教育研究科(修士課程)について
 06.06.28 夏季一斉休業を実施いたします。
 06.07.03 6月19日(月)に第11回国立大学法人上越教育大学経営協議会を開催しました。
 06.06.30 役職員の報酬・給与の水準等(平成17年度)を掲載しました。
 06.06.28 大学院学校教育研究科(修士課程)取得免許状・資格のページを更新しました。
 06.06.28 附属中学校の「学校説明会」を7月1日(土)に開催します。

教育研究組織・附属施設・附属学校
 教育研究組織
 附属図書館・各センター
 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校

大学院連合学校教育研究科(博士課程)について
 兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科へ(新しいウィンドウで表示)

大学の取組み
 教員養成推進プログラム、公開講座などの情報はこちら

公開情報
 規則集、広報刊行物の情報はこちらから

関連サイト
 関連サイトへのリンク集

キャンパスライフ
 学生生活
 就職支援
 納付金

アクセスガイド
 アクセス方法(交通手段)
 周辺の地図・概況
 部局所在地一覧

上越教育大学
 サイト規約 | プライバシーポリシー
 このページは上越教育大学情報・広報委員会(担当:総務部企画企画・評価チーム)が管理しています。
 このページに関するご意見・お問い合わせは kolyo@juen.ac.jp までお願いします。
 [作成:2004.4.3] [最終更新:2006.7.3]
 〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地
 Copyright©2004-2006 Joetsu University of Education. All rights Reserved.

ページが表示されました インターネット

上越教育大学 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス http://www.juen.ac.jp/contents/intro/outline/index.html

JOETSU UNIVERSITY OF EDUCATION

上越教育大学

ホーム サイトマップ お問い合わせ English

SITE MENU

- 訪問者別エントランス
- 社会人一般の方へ
- 入学を希望される方へ
- 卒業生・修了生の方へ
- 在学生・職員の方へ
- 図書館をご利用の方へ
- 大学・大学院プログラム
- 大学紹介
- 学校教育学部
- 大学院学校教育研究科(修士課程)
- 大学院連合学校教育研究科(博士課程)
- 教育研究組織・附属施設・附属学校
- キャンパスライフ
- アクセスガイド
- 大学の取組み
- 公開情報
- 関連サイト

[大学紹介]
大学の概要
創設の趣旨・目的

今日の教育は、広く国民の大きな関心を集め、教育の制度や内容は大きく発展してきた。しかし、その中心となる学校教育を担う教員に対しては、教育者としての使命感と人間愛に支えられた広い一般的教養、教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、教科に関する専門的学力、優れた教育技術など、専門職としての高度の資質能力が要求されている。

上越教育大学は、このような時代の要請にこたえて、主として初等中等教育教員に研究・研鑽の機会を提供することを趣旨とする大学院修士課程と、初等教育教員を養成する学部を持ち、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を推進する国立の教育大学として、昭和53年10月1日に設置された。

大学院は、学校教育研究科(修士課程)とし、主として初等中等教育の実践にかかわる諸科学の総合的・専門的研究を行うとともに、初等中等教育教員に高度の学習と研究の機会を与え、その理論的・実践的な能力の向上を図ることをねらいとしており、そのために、入学定員の3分の2程度は、初等中等教育における3年以上の教職経験を有する者を入学させることとしている。

学部は、学校教育学部とし、初等中等教育教員養成課程を置き、児童等の成長と発達に関する総合的な理解の上に、全教科・領域にわたる優れた指導能力を備えた初等教育教員を養成することを目的としており、人間の生涯を通ずる教育の基礎とされる初等教育と、これに携わる教員の養成の重要性をかんがみ、学生の人間形成についても重視することとしている。

また、教員養成系としては初めて、兵庫教育大学に設置された「大学院連合学校教育研究科(博士課程)」は、本学、

ページが表示されました

スタート 一太郎 - [14大学] 上越教育大学 - 郵便受け - AL-M... 本学評価基準に... Microsoft Excel CAPS KONO 11:14

上越教育大学 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス http://www.juen.ac.jp/contents/intro/middle/index.html

JOETSU UNIVERSITY OF EDUCATION

上越教育大学

ホーム サイトマップ お問い合わせ English

SITE MENU

- 訪問者別エントランス
- 社会人一般の方へ
- 入学を希望される方へ
- 卒業生・修了生の方へ
- 在学生・職員の方へ
- 図書館をご利用の方へ
- 大学・大学院プログラム
- 大学紹介
- 学校教育学部
- 大学院学校教育研究科(修士課程)
- 大学院連合学校教育研究科(博士課程)
- 教育研究組織・附属施設・附属学校
- キャンパスライフ
- アクセスガイド
- 大学の取組み
- 公開情報
- 関連サイト

[大学紹介]
業務方法書及び中期目標・中期計画

本学の業務方法書及び中期目標・中期計画、年度計画を公表します。

- ▶ 業務方法書(PDF)
- ▶ 中期目標(PDF) (平成18年3月30日変更)
- ▶ 中期計画(PDF) (平成18年3月31日変更)
- ▶ 年度計画(PDF)
 - ▶ 平成16年度年度計画(PDF) (平成17年2月1日変更)
 - ▶ 平成17年度年度計画(PDF)
 - ▶ 平成18年度年度計画(PDF)

上越教育大学
Joetsu University of Education

このページは総務部企画室企画・評価チームが管理しています。
このページに関するご意見・お問い合わせは kacyos@juen.ac.jp までお願いします。
[平成2004-41][最終更新:2006-4-5]
〒943-8618 新潟県上越市山原町1番地
Copyright©2004-2006 Joetsu University of Education. All rights Reserved.

本学評価基準に関する状況

スタート 一太郎 - [14大学] 上越教育大学 - 郵便受け - AL-M... 本学評価基準に... Microsoft Excel CAPS KONO 11:16

http://www.juen.ac.jp/contents/intro/middle/pdf/c_moku.pdf - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 検索 お気に入り

アドレス http://www.juen.ac.jp/contents/intro/middle/pdf/c_moku.pdf

162%

次の画面

しおり サムネイル 名前 注釈

国立大学法人 上越教育大学中期目標

(前文) 大学の基本的な目標

上越教育大学は、優れた実践力を備えた教員を養成するとともに、現職教員の研修を通じてその資質向上を図ることを使命とする大学である。

このため、知の世紀における学校教育の役割と個々の人間理解を重視するとともに、教育という総体の中で「今、学校に必要なもの」を創造的に生み出す教育に関する臨床研究を、『学校』、『教師－教育内容・教育方法－子ども』、『学び』という教育現場の実際を踏まえてダイナミックに推進し、その成果に基づいて、教育・研究指導の充実・改善に積極的に取り組む。

目標とするのは、学校教育に関する総合的・中核的な人材養成機関として、オンリーワンの特徴をもつ大学であり、現職教員を含めた本学の持つ知的、人的、物的資源を最大限に活用しつつ、小学校・中学校・高等学校等の学校現場、他大学、他機関、地域との連携協力を進めながら、使命を果たしていく。

1/7 210.3 x 297 印刷

ページが表示されました

スタート 一太郎 - [1大学... 上越教育大学... http://www.juen.a... 郵便受け - AL-M... 本学評価基準に... ATOK 迅速 R漢 読小 CAPS KANA 9:52

http://www.juen.ac.jp/contents/intro/middle/pdf/c_kei.pdf - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 検索 お気に入り

アドレス http://www.juen.ac.jp/contents/intro/middle/pdf/c_kei.pdf

162%

しおり サムネイル 名前 注釈

国立大学法人 上越教育大学中期計画

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の成果に関する目標を達成するための措置

(学部教育)

○教育目標、養成すべき人材、学生が身につけるべき能力等に関する具体的目標

主として初等教育教員の養成に関する社会的要請に応えるべく、深い人間理解と豊かな学識を備えた教員を養成する。

教養教育については、「教育者としての使命感と教育愛に支えられた豊かな教養を培う教育」と捉え、専門教育と対置せず、それと有機的連携を図ることを基本とする。

我が国・地域の歴史・文化の十分な理解、対人関係形成能力、異文化理解及び外国語コミュニケーション能力の育成を図る。このため、特に協定校である米国アイオワ大学及び中国ハルビン師範大学等における定期的な語学研修機会を確保する。

1/22 210.3 x 297 印刷

ページが表示されました

スタート 一太郎 - [1大学... 上越教育大学... http://www.juen.a... 郵便受け - AL-M... 本学評価基準に... ATOK 迅速 R漢 読小 CAPS KANA 9:53

http://www.juen.ac.jp/contents/intro/middle/pdf/18kei.pdf - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 検索 ★ お気に入り

アドレス http://www.juen.ac.jp/contents/intro/middle/pdf/18kei.pdf

162%

平成18年度 国立大学法人上越教育大学 年度計画

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の成果に関する目標を達成するための措置

(学部教育)

○教育目標、養成すべき人材、学生が身につけるべき能力等に関する具体的目標を達成するため、次のことを行う。

① 学生が身に付けた知識・技能を有機的に統合し、教科指導や生徒指導等を実践できる資質能力の形成に関して、指導・助言・援助する取組を一層充実する。

② 情報リテラシーを重視した情報教育を実施する。

③ 健康、スポーツ等に関する体験的・実践的な授業科目並びに自然・環境等に関わる多様な問題を扱う学際的・体験的な授業科目の内容を充実する。

○卒業後の進路等に関する具体的目標を達成するため、次のことを行う。

① 教員採用試験受験者比率の向上に努める。

② 中期計画期間中に教員就職率を65%に高めることを目指し、ベスト10以内の維持に努める。

③ 教員採用正規合格者中の本学卒業生の割合を0.2%以上とすべく、その達成に努める。

ページが表示されました

スタート 一太郎 [1大学] 上越教育大学 http://www.juen.ac... 郵便受け - AL-Mail 本学評価基準に... CAPS KANA 9:54

上越教育大学 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 検索 ★ お気に入り

アドレス http://www.juen.ac.jp/contents/coe/exam/index.html

上越教育大学

ホーム サイトマップ お問い合わせ English

SITE MENU

- 訪問者別エントランス
- 社会人一般の方へ
- 入学を希望される方へ
- 卒業生・修了生の方へ
- 在学生・職員の方へ
- 図書館をご利用の方へ
- 大学・大学院プログラム
- 大学紹介
- 学校教育学部
- 大学院学校教育研究科 (修士課程)
- 大学院連合学校教育研究科 (博士課程)
- 教育研究組織・附属施設・附属学校
- キャンパスライフ
- アクセスガイド
- 大学の取組み
- 公開情報
- 関連サイト

[学校教育学部] 入試情報

夏季一斉休業のお知らせ

上越教育大学では、平成18年8月14日(月)から8月16日(水)の間、全ての部署の業務を休止し、窓口等も閉じますのでご協力をお願いします。

- ▶ 大学説明会 平成18年度の大学説明会は平成18年7月15日(土)に開催します。詳細についてはこちらからご覧ください。
- ▶ 学校教育学部の出願状況 平成18年度学校教育学部「前期日程、後期日程」の出願状況です。
- ▶ 入学志望者選抜要項(抜粋) 平成18年4月入学者用入学志望者選抜要項です。
- ▶ 個別の入学資格審査 選抜要項2ページ出願資格(1)の①の個別の入学資格審査の内容です。
- ▶ 学生募集要項(抜粋) 平成18年4月入学者用の学生募集要項です。
- ▶ 前年度の試験内容 平成18年4月入学者に係る試験内容です。

推薦による選抜

- 面接における主な質問事項
- 前期日程
 - 小論文
 - 小論文出題の意図
 - 小論文採点基準
 - 実技検査(音楽・美術・体育)
- 後期日程
 - 実技検査等は、課していません。

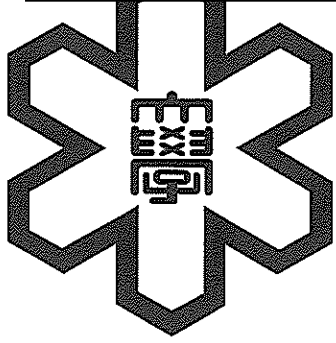
▶ 専修・コースの紹介 2年次以降、各専修・コース(分野)に所属し、所定の授業科目を履修します。

ページが表示されました

スタート 一太郎 [1大学の目] 上越教育大学 - Mic... 郵便受け - AL-Mail 本学評価基準に... CAPS KANA インターネット 9:54

平成17年度 広報刊行物一覧

名 称	発 行 内 容 (概要)	発行部数	配 布 先
上越教育大学概要 (平成17年度)	大学全般にわたっての概略を統計的にまとめたもの	部 3,500	文部科学省, 各国立大学法人, 教育関係機関, 来学者, 職員
上越教育大学学報 第92号～第95号	学内の運営等について, 必要な事項を学内外に周知するため, 学内規則, 人事異動, 一般通報事項等を掲載したもの	500	文部科学省, 各国立大学法人, 教育関係機関, 職員
J U E N 上越教育大学学園だ より No.2～No.3	在学生・同窓生, 訪問先・来訪者等を主な対象とし, 大学の教育・研究, 学生等に関する最新情報を紹介するもの	5,000	文部科学省, 各国立大学法人, 教育関係機関, 来学者, 職員, 在学生, 学部学生保護者, 大学院 院生在職校
平成18年度上越教育 大学案内	学部受験生向けに大学の教育活動及び学生生活に関する事項をまとめたもの	8,000	各国立大学法人, 各高等学校, 教育関係機関, 受験希望者
平成18年度上越教育 大学大学院案内	大学院受験生向けに大学の教育活動及び学生生活に関する事項をまとめたもの	14,550	各国立大学法人, 教育関係機関, 受験希望者
上越教育大学年次報 告書(平成16年度版)	大学全般にわたっての活動状況をまとめたもの	Web上で 公開	
学校教育総合研究セ ンター要覧2005	センターの事業概要を紹介したもの	500	教育関係機関, 来所者, 職員
学校教育総合研究セ ンターニュース No.5～No.9	センターの活動状況を紹介したもの	700	各国立大学法人教育センター, 教育関係機関, 大学院学生, 職 員
学校教育総合研究セ ンター年報 第5号 (平成17年度版)	センターの研究報告及び事業報告をまとめたもの	500	各国立大学法人教育センター, 資料提供教育関係機関, 職員
学校教育総合研究セ ンター客員研究員研 究報告(平成17年度)	センター客員研究員の研究報告をまとめたもの	530	各国立大学法人教育センター, 資料提供教育関係機関, 職員
実技教育研究指導セ ンター平成15,16年 度年次報告(第17号)	センターの活動状況をまとめたもの	400	国立大学法人教員養成学部, 教 育関係機関, 職員
学校要覧 (附属小学校)	教育目標, 校歌, 活動, 沿革, 職員, 児童, 学校行事, 研究, 校舎配置図, PTA等をまと めたもの	500	文部科学省, 教育関係機関, 来 校者, 職員
学校案内 (附属小学校)	入学希望者及びその保護者向けに学校の特 色を紹介したもの	1,000	入学希望者及びその保護者, 来 校者, 職員
学校要覧 (附属中学校)	教育目標, 沿革, 任務, 研究年譜, 校時表, 学校運営組織, 年間行事計画, 生徒会, 部 活動・クラブ, 校舎・施設等をまとめたも の	500	文部科学省, 教育関係機関, 来 校者, 職員
学校案内 (附属中学校)	入学希望者及びその保護者向けに学校の特 色を紹介したもの	1,900	入学希望者及びその保護者, 来 校者, 職員
幼稚園要覧 (附属幼稚園)	設立の概略, 本園の使命, 教育目標, 重点 目標, 園児, 職員, 施設・設備等をまとめ たもの	500	文部科学省, 教育関係機関, 来 園者, 職員
学校案内 (附属幼稚園)	入学希望者及びその保護者向けに学校の特 色を紹介したもの	300	入学希望者及びその保護者, 来 校者, 職員
平成17年度特色ある 大学教育支援プログ ラム「教職キャリア教育に よる実践的指導力の 育成」	文部科学省の大学支援事業「平成17年度特 色ある大学教育支援プログラム」に選定され た本学取組「教職キャリア教育による実践的 指導力の育成—分離方式の初等教育実習を 中核として—」の概要を紹介したもの	3,000	教育関係機関, 来学者, 職員
平成17年度大学・大 学院における教員養 成推進プログラム「マル チコラホレーションによる実 践力の形成」	文部科学省の大学支援事業「平成17年度大 学・大学院における教員養成推進プログラ ム」に選定された本学取組「マルチコラホ レーションによる実践力の形成—学校現場 の教育課題に対応した学校教育プログラム と大学の教師教育プログラムの開発を通 して—」の概要を紹介したもの	Web上で 公開	



上越教育大学概要 2006

Outline of Joetsu University of Education



創設の趣旨・目的

Outline and Characteristics of the University

今日の教育は、広く国民の大きな関心を集め、教育の制度や内容は大きく発展してきた。

しかし、その中心となる学校教育を担う教員に対しては、教育者としての使命感と人間愛に支えられた広い一般的教育、教育の理念・方法及び人間の成長や発達についての深い理解、教科に関する専門的学力、優れた教育技術など、専門職としての高度の資質能力が要求されている。

上越教育大学は、このような時代の要請にこたえて、主として初等中等教育教員に研究・研鑽の機会を提供することを趣旨とする大学院修士課程と、初等教育教員を養成する学部を持ち、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を推進する国立の教育大学として、昭和53年10月1日に設置された。

大学院は、学校教育研究科（修士課程）とし、主として初等中等教育の実践にかかわる諸科学の総合的・専門的研究を行うとともに、初等中等教育教員に高度の学習と研究の機会を与え、その理論的・実践的な能力の向上を図ることをねらいとしており、そのために、入学定員の3分の2程度は、初等中等教育における3年以上の教職経験を有する者を入学させることとしている。

学部は、学校教育学部とし、初等教育教員養成課程を置き、児童等の成長と発達に関する総合的な理解の上に、全教科・領域にわたる優れた指導能力を備えた初等教育教員を養成することを目的としており、人間の生涯を通ずる教育の基礎とされる初等教育と、これに携わる教員の養成の重要性にかんがみ、学生の人間形成についても重視することとしている。

また、教員養成系としては初めて、兵庫教育大学に設置された「大学院連合学校教育学研究科（博士課程）」は、本学、兵庫教育大学、岡山大学及び鳴門教育大学の4大学が、それぞれの大学院修士課程における実績の上に、連携協力して教育・研究組織を編成し、学校教育における教育活動や教科の教育に関する実践的研究を行い、それを踏まえた高度の研究・指導能力を備えた人材を育成することを目的としている。

Reflecting the fact that education is a matter of great concern among Japanese people today, there has been a marked development in educational systems and materials. Today's classroom teacher, the central figure in education, is expected to have a versatile array of qualities such as a high appreciation of culture supported by a sense of mission and humanity; a deep understanding of pedagogical ideas and methods as well as the processes of human growth and development; a specialized knowledge of subject areas; and excellent teaching techniques.

In order to meet these contemporary needs, Joetsu University of Education was established in 1978 as a national university which aims to promote the theoretical and practical studies of school education. It consists of the Graduate School of Education which is chiefly intended for in-service teachers and the College of Education which offers undergraduate courses in teacher training.

The Graduate School of Education (Master's Program) conducts comprehensive and specialized studies of various sciences chiefly involved in the theory and practice of elementary and secondary education. It also offers school teachers the opportunity of pursuing advanced research and improving their theoretical and practical abilities. For that purpose, approximately two-thirds of the admission capacity of the Graduate School of Education is allotted to the teachers who have at least three years of teaching experience.

The College of Education offers undergraduate courses which train students to have excellent teaching abilities in all the subject areas of elementary education. The course work also cultivates a comprehensive understanding of the processes of growth and development in children. Considering the importance of primary education as the starting-point for people's lifelong learning, special emphasis is placed on building character of the students who intend to become elementary school teachers.

In 1996 The Joint Graduate School in Science of School Education was opened at Hyogo University of Teacher Education as the first Ph.D. Program in the field of teacher training in Japan. Its educational and research system is organized on a cooperative arrangement among four universities, Joetsu, Hyogo, Okayama, and Naruto. Supported by the experiences and achievements of each university's Master's Program, the Joint Graduate School (Ph.D. Program) conducts practical research on educational activities and the teaching of subject areas, and thereby aims to train capable persons with high abilities of research and instruction.

平成18年度 上越教育大学学生募集要項（抜粋）

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1 教育の理念・目的

上越教育大学は、21世紀の教育を担う中核的・指導的な教員の養成を目指しています。21世紀という時代に社会がどのように変化していくのかについては、様々なとらえ方が可能です。しかし、はっきりしているのはこれまで以上にあらゆる領域の変化が大きく、そして加速度的に速くなり、その変化に適切に対応することのできる能力の形成と個性の尊重が大きな社会的課題となっていく、ということではないでしょうか。そうした時代にあって、学校教育においても、これまでの知識や経験の枠組みでは十分に対応することが困難な課題や問題が生じてきています。

今、学校教育に求められているのは、様々な問題を的確に発見し、子ども一人ひとりの個性的な学びと生活に創造的に対応することができ、同時に、その解決を支援することのできる新しい形の指導力です。学校に、教員に、極めて高い専門性と自らを高める向上心が、今ほど求められているときにはありません。

上越教育大学は、このような教員養成を使命として創設された新しい教育大学です。本学は、昭和53年の発足以来、若々しいエネルギーに満ちあふれ、大学院博士課程を備えたトップクラスの教員養成大学として成長しております。平成12年4月には更なる飛躍を目指して改革を行いました。この改革で、確かな実践的指導力を備えて、21世紀の教育の改善に寄与し、子どもの未来を切り開くことのできる人材を養成していきたいと、私たち上越教育大学は考えています。

本学の教育の理念・目的を理解した個性豊かな学生が多数入学し、恵まれた教育・研究環境の中でそれぞれの可能性を存分に追求しながら教職への夢を実現してほしいと願っています。

2 養成したい教員像

上越教育大学は、21世紀を担う教員像として、教育者としての使命感と教育愛に支えられた人間的な視野、更に深い学識と優れた技能に支えられた総合的な視野、この二つの視野を兼ね備えた教育の専門家を考えています。教員という職業は、豊かな人間性に支えられた専門職です。特にその専門性には、子どもたちの学習と生活を支援でき、そして人類の築き上げた文化を全体として理解・把握する、つまり、様々な学問分野の考え方を整理・統合し、人間の文化的営みを理解できる総合的な能力が求められています。

上越教育大学は、平成12年4月より着手した新たな教育課程によって、人間的な視野と総合的な視野に立った教育のスペシャリストを養成していきたいと考えています。

3 求める学生像

現在，初等中等教育，高等教育の改革が進行し，高等学校，大学それぞれの多様化，個性化が進みつつあります。それに伴って，個人の能力・適性，関心・意欲に応じた個性的，主体的な進路選択が強く求められています。

これからの入学者選抜では，「学生を絞り込む」のではなく，「求める学生を見いだす」ことが大学側に求められ，「大学から選ばれる」のではなく，「大学を主体的に選択する」ことが受験生側に求められています。

上越教育大学では，以下に示す入学者選抜方法によって，「この成績なら，この辺の大学に」という動機で入学する学生よりも，本学の教育の理念・目的を十分に理解し，教職への関心と意欲を持ち，協調性や人間性に優れ，積極的に学習を進めていくことのできる，個人的魅力のある学生を求めています。

<個別学力検査等による選抜〔前期日程〕で求める学生像>

前期日程では，小論文と実技検査を課し，本学の教育課程に適合する資質を備えた学生を受け入れることを目指しています。そのために，この選抜では次にあげるような能力と適性を評価します。

課題探求能力と表現能力に優れ，音楽・美術・体育の実技について基礎的な適性を有する学生

<個別学力検査等による選抜〔後期日程〕で求める学生像>

後期日程では，主として大学入試センター試験の成績に基づいて選抜を行います。この選抜では，次にあげるような学力を有し，本学を「入学したい大学」として積極的に選択する学生を求めています。

バランスのとれた，より高い基礎学力を有する学生

<推薦による選抜で求める学生像>

推薦による選抜では，面接を全員に課し，個別学力検査等による選抜でははかりきれない，次にあげるような魅力のある学生を受け入れることを目指しています。推薦による選抜で入学した学生の多くが，入学後も目的意識をもって大学生活を過ごし，教職への夢を実現しています。

好奇心旺盛で，得意分野を有する学生